



奥州のこだわりの品に多くの人が興味津々

「こだわりの食で奥州の魅力を発信」

市は、食の黄金文化・奥州魅力フェアを11月3日から4日間、いわて銀河プラザ（東京都中央区銀座）で開催しました。良質な農産物や加工品がある本市の知名度の向上を目的としたこのフェアには、生産者や加工業者など25者が出品。試食・販売コーナーでは、出品者の寄せる思いやストーリーを紹介し、美味しい食が溢れる本市の魅力を来場者に届けました。会場では「また開催してほしい」「商品として取り扱わせてほしい」との声が聞かれ、開催の成果を感じることができました。



劇仕立てで学習活動の成果を発表した衣川小学校4年生

「自然と共に心豊かに生きる大切さを」

市は、市環境市民会議「奥州めぐみネット」との共催でおうしゅう環境フォーラム2016を11月12日、衣川地区センターで開催しました。10回目の開催となった今回は、活動事例発表や基調講演のほか、「森から学ぶ私たちの未来」をテーマとしたパネルディスカッションが行われ、「私たちは知らず知らずのうちに自然の恩恵を受けている。そういった大切なものを考え、未来に残したい」と、豊かな森、清らかな水など自然について見つめ直す意見が交わされました。

いさわ パンと絵本で「秋」を実感
コラボパンを作って絵本を読もう！



先生からの手ほどきで、みるみる上達。かめパンとゆきだるまパンを作ったよ

社会福祉法人胆沢コスモス会と胆沢図書館の共同主催事業「絵本からとびでたコラボパン」の関連イベント「コラボパンを作って絵本を読もう！」が11月5日、名作絵本「からすのパンやさん」と「へんてこパンやさん」に登場するパンを期間限定販売する工房さくら内「ぱん日和」で開催されました。このイベントは、ぱん日和でのパン作りの体験と胆沢図書館での絵本の読み聞かせを通じて読書の大切さを知り、家族の和を深めてもらおうと企画されたものです。慣れない手つきでパンをこねたり、クリームを込めたりと苦戦する参加者は、次第に形作られていくパンを目に、制作意欲が膨らみ真剣そのもの。焼き上がりのパンの出来栄えにとっても満足していました。

まえわ 牛を学べる工作にモー夢中
あそんでまなぼう！うしはく探検隊

あそんでまなぼう！うしはく探検隊が11月3日、牛の博物館（内田宏館長）で開催されました。同館を多くの人に親んでもらおうと、認定NPO法人大阪自然史センターなどとの共催で文化の日に行っているこのイベント。3回目のことしも市内外から多くの親子連れが訪れ、牛にまつわる工作などを楽しみました。

真城小2年の鈴木来夢くん（8）は「エコバッグ作りと貼り絵が特に楽しかった。きれいにできた貼り絵は家に飾りたい」と目を輝かせていました。



岩手大学の学生グループ「自然史探偵団」による「キラキラうち虫はりえ」

えさし 子どもの健やかな成長祈る
赤ちゃんの手型・足型を採ろう

えさし郷土文化館ミュージアムフェア2016のイベント「一万年の祈り「赤ちゃんの手型・足型を採ろう」」が11月3日、同館で開催されました。縄文時代の「手型・足型付き土製品」をモチーフに、0歳から3歳までの赤ちゃんの手型・足型を粘土板に採りレリーフを作成するイベントで、今回で6回目です。

江刺区岩谷堂から参加した後藤貫太くん（5カ月）のお母さんは「来年も参加したい」とわが子の成長の記念品に満足していました。



力強い一歩を記した赤ちゃんに家族もニコリ



原稿作成に始まりミキシングまでを体験

みざわ 仕事を通じて得られた喜び
キッズワーカーズ in 奥州

キッズワーカーズ in 奥州（奥州商工会議所青年部主催）が11月13日、水沢地区センターで開催されました。参加した小学生は18種の職種から職業を選択。魅力的な体験ブースに目移りしながらも、時間に見合ったベリー（報酬）を考え、効率よく仕事をこなしました。

ラジオパーソナリティーを体験した胆沢第一小5年の小野寺麗さん（10）は「学校で放送委員をやっている。ラジオがどのように制作されているのかよく分かった」と番組が出来上がる工程を学び感心していました。



入会1年目の新人・恋むらさきさんが投票1位に輝いた

こぞがわ 歴史講談教室の成果を披露
秋の陣場まつり

講談を通じて地域の歴史を伝承している奥州衣川青凜会による秋の陣場まつりが11月23日、歴史ふれあい館で開催されました。会員たちが7分間で講談の口上を披露する「ぶつかり稽古」では観客の投票が行われ、見事1位を獲得した恋むらさきさん（68）が講談「長之助とマクシモヴィッチ博士」の全編を披露しました。

大とりには、同会の指導を行う奥州大使で講師の宝井一凜さんが登場。「名月若松城」が上演され、観客は臨場感たっぷりの名調子に聞き入っていました。